



## 不動産事業と解体事業を融合。 土地の価値を最大化するワンストップサービス

### 解体から生まれる 新たな価値

丸友開発(株)は1977年に解体事業を行う会社として浜松市で創業。解体後の更地の売買までを取り扱うため、1991年に不動産事業をスタートし、不動産事業×解体事業のスキームを進化させてきた。“土地の価値を最大化する”ことを不動産事業と解体業の融合の本質と捉え、解体から産業廃棄物の処理、不用品処分、引越し、金融相談といった不動産の“出口設計”までをワンストップで行えるのが、同社最大の強みだ。

代表取締役の大石安孝氏は「老朽化した建物や空き家、耐震不足物件の売却・活用、地域開発など幅広い相談が寄せられますが、当社ではまず“解体によって土地や地域の価値や安全性が高まるか”を不動産のプロとして冷静に見極めます。その上で、更地化による流通性向上や地域のニーズに合わせた活用など、最適な選択肢を設計していくのです」と語る。こうした、

それぞれの土地や建物が持つ本来の価値を最大限に引き出し、次の活用へとつなげることにこだわり続ける姿勢が、お客さまだけでなく、業種を超えた提携事業者や地域の方々から信頼、評価されている。

### 「安心・安全」と 「高付加価値」の実現

産業廃棄物処理業の許可を有するほか、地域の引越会社や不用品利活用事業者、金融機関とも強いネットワークを築き、相続・資産運用・終活サポートまで一貫して対応することで、他社との差異化を図っているという同社。「空き家解体補助金制度がある地域では、私たちがハブとなり申請サポートも行っています。解体から売却後の資産運用相談まで、不動産に関することは全て任せていただける体制づくりが、お客さまの負担軽減と安心感の醸成につながっていると考えます」と同氏は話す。

さらに「近年、無法な解体や産廃処理を行う事業者も存在し、業界全体への信頼にも影響を与えています。当社では工事時の近隣とのコミュニケーションを徹底し、安全管理はもちろん、アスベストやダイオキシン対策工事にも対応しており、市や県が実施する『経営事項審査』でも解体事業者として高い評価を受けています」と同氏。“解体時の適切な処置や処分によりコスト高となったとしても、地域に強い不動産事業者との連携などにより土地を高価売却することで、お客さまの手元に残る資産を最大化できる”との理念のもと、解体工事の安心・安全に力を注いでいる。

安全・安心な解体工事にこだわることで、地域の不動産事業者の皆さまからも“信頼できる解体事業者”として、ご支持いただいています。



浜松市中央区  
丸友開発(株)  
代表取締役 大石 安孝 氏

「今後は、不動産事業者をはじめとする多様なステークホルダーに我々の価値を知っていただき、不動産の流通や解体ニーズといった情報の相互提供を含めた連携の輪をさらに広げていきたいと考えています」と力強く語る同氏。解体事業のノウハウを活かした独自のビジネスモデルで成長を続ける同社のこれからの、期待が高まる。



自社ホームページ内の社長ブログは、ビジネスパーソン  
の心に刺さると人気を博しており、多くのフォロワーが  
いる (<https://maruyou.com/news/>)



同社が既存の建物の解体を手掛けた、相続対策の事例。解体後、土地は分筆してハウスメーカーに売却された

### ONE POINT CHECK

### 「解体する」から 「活かす」へ

浜松市が位置する静岡県西部は、多くの工場が所在する製造業が盛んということもあり、丸友開発にも事業用地の開発・活用の相談も多いという。その際、同社が大切にしているのが、規模の大小を問わず事業を“たたみたい人”にも“始めたい人”にも最良の選択肢を提供すること。「目的はただ解体することではなく、お客さまと地域社会において、その土地の価値を最大化することです」と語る大石氏。同社は土地を“活かす”発想で、不動産業界のみならず、地域の活性化にも貢献している。

#### 加盟店情報

丸友開発(株)  
所在地 / 静岡県浜松市中央区若林町285  
TEL / 053-454-8118

